

平野中だより

令和7年2月3日

〈学校教育目標〉ともに学び挑み夢を語る生徒

【合言葉】～かがやきサイクルでレッツチャレンジ!～

蓮田市立平野中学校 TEL 048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



「鬼」に打ち勝つ力を

校長

2月といえば「節分」ですね。今年は「2月2日」でしたが、「節分は2月3日」だと思いついていた人も多いのではないのでしょうか。これは、1985年から2020年までの実に36年間、節分が2月3日だったからかもしれません。2021年から2057年までの間は、4年に1度だけ2月2日になるようです。なぜそんなことが起こるのでしょうか…。

節分は立春の前日と定められています。前号の話とも関連しますが、地球の公転周期は365日よりも6時間ほど長いので、4年に1度のうるう年でリセットしています。しかし、それでも端数分のズレが調整しきれず残ってしまうため、立春の日もズレることがあるそうです。

本校では2月3日(月)に、先生方を鬼に見立てて全校生徒で豆まきをしました。鬼とは、病気や災いのことを指したり、自分の中に潜む悪い心のことを指したりもしますが、みなさんは悪い鬼を追い払い、福を呼び込むことができたでしょうか…。



さて、世の中には、その姿を隠して私たちに危害を加えようとする悪い鬼がいます。次に紹介するのは、ある金融機関の窓口で働く私の妻の体験談です。

ある日、一人のおばあさんが自分の預金口座から300万円の引き出しを希望してきたそうです。しかし、規定により、高額な引き出しを行う場合はその利用目的や請求書等の明示も必要となっているのですが、そのおばあさんは頑なに拒否し、「なんで自分のお金なのに自由に引き出せないの!？」と憤慨されたそうです。それは、振り込め詐欺等の被害を防ぐためでもあるのですが、お客さんが利用目的を明らかにしない場合は警察を呼んで許可が得られた場合のみ引き出せるそうで、妻は規定どおり警察を呼びました。しかし、おばあさんはその間に、「もうこんなところに預けないわ!」と大激怒して帰ってしまったそうです。その後、警察の調べで、案の定おばあさんがお金を振り込もうとしていた先が詐欺グループだったことが分かりました。後日、そのおばあさんは息子さんに連れられて窓口で謝罪をしに来たそうです。どうやら、振り込んだお金が増やせるようなことを言われ、その誘惑に騙されてしまったようです。窓口で不満を言う人が多いそうですが、規則に従うことでお客さんを守っています。

私も学生時代、一人暮らしのアパートに突然訪ねてきた知らない人にお金を貸してしまい、結果的に騙し取られてしまった経験があります。困っている様子だったというのもあるのですが、「増やして返す」という言葉にまんまと騙されてしまったのです。



もちろん、騙す「鬼」が一番悪いことは言うまでもありませんが、自分の心の中に潜む小さな「鬼」(欲望など)が、正しい判断を狂わせてしまうこともあります。人の「弱み」につけ込むような鬼もいます。常に冷静な判断ができる、「鬼に打ち勝つ力」を身に付けておきたいものですね!